



H・P・C 通信

学校教育目標 「ハート」「パワー」「チャレンジ」～わたしらしくあなたらしく～



なめくじは、なぜきらわれる？ 10/29 校長講話

いじめは、人権を侵害する、あってはならない行為です。しかし、人と人がかわる集団の中では残念ながら起こってしまうことがあります。1対1の関係でのいじめでは、コミュニケーションの不足による誤解やすれ違いが原因になることが多く、話し合いによって解決を目指しますが、集団でのいじめの場合は、加えて「思い込み」や「偏見」によって広がる場合があります。ある本で、「思い込み」や「偏見」を生き物にたとえた、こんな話を見つけました。

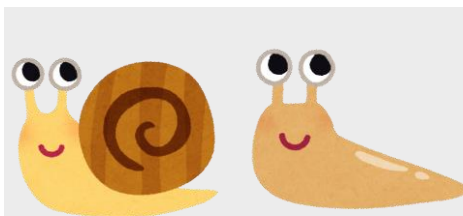
みなさん、「かたつむり」を知っていますね。かたつむりってかわいいイメージですよね。でも、かたつむりによく似ている「なめくじ」って、なんだか嫌われ者ですね。両方とも同じ仲間で、同じようにぬるぬるしているのに、殻があるかないかだけで、ずいぶん扱いが違います。なぜ、なめくじは嫌われるのでしょうか？

「すき」「きれい」の感覚って、「思い込み」が多くあって、みんなが「きれい」って言うと、なんだか自分もその気になって、「きれい」って信じ込んでしまう。そして、いつの間にか、みんながそう思って、避けるようになる…。実は、なめくじって、かたつむりが「進化」した生き物だって、知っていました？ なめくじは進化して殻を無くすことで、せまい所でも自由自在です。なめくじってすごいじゃないですか！

さて、友達との間で、「あの子、なんかきらい」って思い込みに、みんなが同調して、避けたり、必要以上にきびしく接したり、…そんな「いじめ」は絶対あってはならないことです。人にはだれにでも苦手なことや欠点がありますが、必ず人より優れた「よさ」があります。友達の欠点を受け止め、よさを見つけ、お互いに「あなたらしさ」を認め合えるような仲間になりましょう。だれかが「あいつ変だよ」って言っている、それに流されず、自分で正しいことを判断して立ち向かうことができる人になってほしい。自分で気づき考え動き、「わたしらしさ」を磨いてほしい。

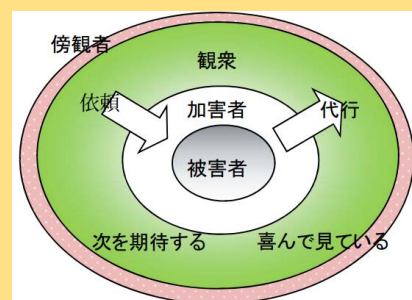
校長先生は、周りとは少し違っているように見えても、自分らしくあろうとする人が大好きです。そして、いじめは絶対に許しません。

(追記) この話は、「思い込み」や「偏見」の仕組みを例えたものであり、決していじめられる人をなめくじに例える意図はありません。

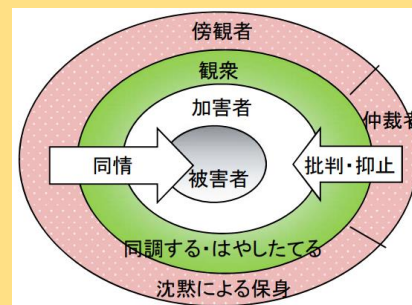


いじめの構造3タイプ

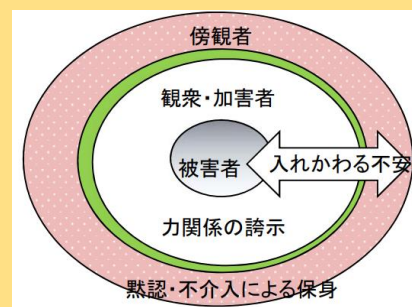
1 傍観者がいじめ行為に加担するタイプ



1 傍観者がいじめ行為の仲裁に入ろうとするタイプ



1 傍観者がいじめ行為の被害者になりうるタイプ



いじめは、被害者の支援、加害者への指導はもちろんのこと、最も割合の多い傍観者に対する指導が重要です。

参考資料：子どもたちのSOSが聞こえますか？



思考力・表現力の向上を目指した学びの充実

成和小学校では、思考力・表現力の向上を目指した学びを充実させるために、

思考力を育成する指導法の工夫

～「かく」ことの指導を通して～

を主題に掲げ、校内研究をすすめています。具体的には、次のような取組をしています。

○講師を招いた研修会

教育センターや教育事務所から講師を招き、成和小の研究主題にせまるための講話や意見交流を通して、研究の方向性を共通理解します。

○授業研究会

各学級の授業を先生達でお互いに参観し合い、意見交流し、より質の高い授業づくりを目指します。

○児童の活動を充実させる取組

日記指導やスキルタイム、辞書引きや新聞記事の活用、家庭学習や自学のすすめなど、日頃の言語活動の充実を目指します。

○研究紀要の作成

1年間の研究の実践や、成果と課題を、冊子にまとめます。



夏休み中に、西部教育事務所から講師を招き、「かく」ことの実践に向けた指導・助言をいただきました。

講師による指導・助言



先生方は、低・中・高学年グループに分かれて指導案を練り合い、全員が授業を公開します。

授業公開



授業公開の後は、放課後に集まり、授業の感想や改善点を出し合い、次につなげます。

意見交流

校内研究については、成和小学校ホームページにも、「校内研究」のコンテンツを挙げ、全体計画や研修会、授業研究会の様子や内容を発信していますので、是非ご覧ください。